

## IBM Insights Foundation for Energy On Cloud

ご利用条件(以下、「ToU」といいます。)は、本「IBM ご利用条件 – SaaS 特定オフリング条件」(以下、「SaaS 特定オフリング条件」といいます。)、および以下の Web サイトでご覧いただける「IBM ご利用条件 – 一般条件」(以下、「一般条件」といいます。)という表題の文書で構成されています

(URL:<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/tou-gen-terms/>)。

相違がある場合は、「SaaS 特定オフリング条件」が「一般条件」に優先するものとします。「IBM SaaS」の注文、そのアクセスまたは利用により、お客様は「ToU」に同意したものとみなされます。

「ToU」は、「IBM パスポート・アドバンテージのご契約条件」、「IBM パスポート・アドバンテージ・エクスプレスのご契約条件」、または「IBM SaaS 特定オフリングのご契約条件」(以下、「本契約」といいます。))に追加されるものであり、「ToU」と併せて完全な合意として成立します。

### 1. IBM SaaS

以下の「IBM SaaS」オフリングは、これらの「SaaS 特定オフリング条件」の対象です。

- IBM Insights Foundation for Energy Premium User On Cloud
- IBM Insights Foundation for Energy Standard User On Cloud
- IBM Insights Foundation for Energy Consumer User On Cloud
- IBM Insights Foundation for Energy Asset Analytics On Cloud
- IBM Insights Foundation for Energy Setup On Cloud

### 2. 課金単位

「IBM SaaS」は、「取引文書」で規定された以下の課金単位のいずれかに従って販売されます。

- 「許可ユーザー」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。お客様は、何らかの手段により直接的または間接的に(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを介して)「IBM SaaS」にアクセスする「許可ユーザー」ごとに、個別に専用の使用許諾を取得する必要があります。お客様の「証書(PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」へのアクセス権限が付与される「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分な使用許諾を取得する必要があります。
- 「同時ユーザー」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。1「同時ユーザー」とは、ある特定の時点で「IBM SaaS」にアクセスしている1人のユーザーをいいます。当該ユーザーが複数回「IBM SaaS」に同時アクセスしているかどうかに関わらず、当該ユーザーは、1「同時ユーザー」としてカウントします。お客様は、お客様の「証書(PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に何らかの手段により直接的または間接的に(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを介して)「IBM SaaS」に同時にアクセスする「同時ユーザー」の最大数に対して使用許諾を取得する必要があります。
- 「資産」は、「IBM SaaS」を取得する際の課金単位です。「資産」とは、管理対象となる、あらゆる有形リソースまたは項目をいいます。これには、実稼働設備、施設、輸送機関、IT ハードウェアおよび IT ソフトウェアが含まれます。「IBM SaaS」で固有 ID を保持するリソースまたは項目は、別個の「資産」となります。お客様は、「証書(PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM SaaS」がアクセスまたは管理する「資産」をカバーするのに十分な使用許諾を取得するものとします。

### 3. 料金および課金

「IBM SaaS」に対する料金は、「取引文書」に記載されます。

#### 3.1 セットアップ

セットアップ料金は、「取引文書」に明記されます。

## 3.2 1か月に満たない期間の料金

1か月に満たない期間の料金は、日割計算によりお客様に請求されます。1か月に満たない期間の料金は、IBMがお客様に対して「IBM SaaS」へのアクセスが可能になったことを通知した日から開始し、その月の残りの日数に基づき計算されます。

## 3.3 超過料金

課金期間中のお客様の「IBM SaaS」の実際の利用が、「PoE」に記載される使用許諾範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の規定に従い、その超過分について請求されます。

## 4. 「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」の更新オプション

以下のいずれかを指定することによって、「サブスクリプション期間」の終了時に「IBM SaaS」を更新するかどうかをお客様の「PoE」で定めます。

### 4.1 自動更新

お客様の「PoE」に、お客様の更新は自動更新と記載されている場合、お客様は、「PoE」に規定されている有効期間満了日の少なくとも90日前までに、お客様のIBM営業担当員またはIBMビジネス・パートナーへの書面による要求により、期間満了となる「IBM SaaS」の「サブスクリプション期間」を終了させることができます。IBMまたは「IBMビジネス・パートナー」が、有効期間満了日までにかかる終了通知を受領していない場合、期間満了となる「サブスクリプション期間」は1年間、または「PoE」に規定される当該更新前の「サブスクリプション期間」と同じ期間のいずれかで自動的に更新されます。

### 4.2 更新が必要

「PoE」にお客様の更新タイプは「終了」であると記載されている場合、「IBM SaaS」は「サブスクリプション期間」の満了時に終了し、お客様の「IBM SaaS」へのアクセスは削除されます。終了日以降も「IBM SaaS」の利用を継続するには、お客様のIBM営業担当員または「IBMビジネス・パートナー」に対して新規の「サブスクリプション期間」を発注し、購入する必要があります。

### 4.3 請求の継続

「PoE」にお客様の更新は継続すると記載されている場合、お客様は引き続き「IBM SaaS」に対するアクセス権限を有するものとし、「IBM SaaS」の利用に対して継続的に請求が行われます。「IBM SaaS」の利用を中断し、継続的な請求プロセスを停止するためには、お客様は90日前までに、IBMまたは「IBMビジネス・パートナー」にお客様の「IBM SaaS」の解約を要求する通知を書面で行う必要があります。お客様のアクセスの解約により、お客様には解約が効力を生じる月内の未処理のアクセス料金が請求されます。

## 5. テクニカル・サポート

「テクニカル・サポート」は「IBM SaaS」オフリングおよび「イネーブリング・ソフトウェア」に対して、「サブスクリプション期間」中に適宜提供されます。テクニカル・サポートは「IBM SaaS」に含まれ、個別のオフリングとしては提供されるものではありません。テクニカル・サポートが有効である間、以下を提供します。

- a. IBMは、お客様に対して、導入や使用方法（操作手順）に関する一般的かつ短時間の質問や、コードに関連する質問に対する支援を提供します。
- b. IBMはお客様を担当するIBMサポート・センターの通常営業時間（IBMが公表する基本シフト時間）に、電子的な問題報告と電話による支援を提供します。（本「サポート」は、お客様のエンド・ユーザーに対しては提供されるものではありません。）IBMは、重要度1に対する支援を、24時間365日提供します。
- c. IBMは、お客様のソフトウェア上の問題の原因特定においてお客様を支援するために、お客様のシステムにリモート・アクセスする許可を求める場合があります。IBMがお客様の許可を得た上でシステムにリモート・アクセスする場合、お客様のシステムの保護およびシステム内のすべてのデータの保全は、お客様の責任とします。

テクニカル・サポートには、次のサポートは含まれません。1) アプリケーションの設計と開発に対するサポート、2) 所定稼働環境以外の環境におけるお客様の「IBM SaaS」の使用に対するサポート、および3) IBMが「ご利用条件」に基づく責任を有しない製品およびサービスに起因する障害に対するサポート。

## 6. サービス・レベル目標

本「IBM SaaS」に対するサービス・レベル目標は以下のとおりです。

- 予定された定期保守時間帯以外の可用性: 99.5%
- Web ページ・アクティビティーが起こっていることを示す最大応答時間: 5 秒

サービス・レベル目標は目標であり、お客様に保証するものではありません。IBM は、サービス・レベル目標を満たさない場合でも、お客様に返金、割引、またはその他の救済措置を行うものではありません。

## 7. イネーブリング・ソフトウェア

「イネーブリング・ソフトウェア」は、「IBM SaaS」の一部としてお客様が利用可能なプログラムまたは関連資料です。「IBM SaaS」に含まれる「イネーブリング・ソフトウェア」は以下のとおりです。

- IBM SPSS Modeler Premium 16
- IBM Cognos Framework Manager 10.2.1
- IBM SPSS Data Access Pack v7.1

「イネーブリング・ソフトウェア」は、「PMQ Artifacts」との使用に限定して提供されます。

### 7.1 IBM SPSS Data Access Pack

「IBM SPSS Data Access Pack」は、「イネーブリング・ソフトウェア」である「IBM SPSS Modeler Premium 16」による使用に限定して提供されます。

お客様がバックアップ、リカバリーおよび許可された構成など「IBM SPSS Data Access Pack」の管理機能を実行することを目的として「IBM SPSS Data Access Pack」にアクセスする場合を除き、お客様またはアプリケーション、プログラムもしくはデバイスのいずれも「IBM SPSS Data Access Pack」サービスの直接使用やサービスへの直接アクセスを許可されていません。

### 7.2 「イネーブリング・ソフトウェア」の使用

「イネーブリング・ソフトウェア」には、該当するライセンス契約が適用されます。お客様が「イネーブリング・ソフトウェア」のインストールを受諾したライセンス契約において相反する条項があったとしても、「イネーブリング・ソフトウェア」は、本「ToU」の条項に従い、「IBM SaaS」と組み合わせた使用、および、以下に定義される「PMQ Artifacts」の修正または新規の「PMQ Artifacts」の作成(以下、総称して「Customized PMQ Artifacts」といいます。)を目的とした「IBM SaaS」との使用のみ可能です。

お客様による「IBM SaaS」へのアクセスが終了した場合、お客様は「イネーブリング・ソフトウェア」および「PMQ Artifacts」の使用も終了し、お客様のシステムからすべての「イネーブリング・ソフトウェア」および「PMQ Artifacts」を削除し、すべてのコピーを破棄しなければなりません。

### 7.3 PMQ Artifacts

「PMQ Artifacts」は、「IBM SaaS」との使用が可能な事前定義および事前構成された資料をいいます。

- 「IBM SPSS Modeler」モデル、「IBM Cognos Business Intelligence」モデル、レポート、アクティブ・レポート、およびダッシュボード。

お客様は「PMQ Artifacts」に含まれるいかなる著作権情報および表示も変更、削除することができません。

上記に定義された「PMQ Artifacts」および「Customized PMQ Artifacts」は、「IBM SaaS」との使用でのみ可能であり、単独では使用できません。「IBM SaaS」は、「Customized PMQ Artifacts」の作成または検証に関して、対象分野の専門知識を提供しません。「Customized PMQ Artifacts」の「IBM SaaS」への導入は「IBM SaaS」とは別であり、個別のサービスを必要とする場合があります。

IBM は「PMQ Artifacts」および「Customized PMQ Artifacts」に関していかなるサポート義務も負いません。IBM は、サポートの義務を負わずに「現存するままの状態」で「PMQ Artifacts」を提供するもので

あり、権原保証、権利不侵害または不干渉に関する保証および商品性、特定目的適合性に関する黙示的保証および条件を含む、明示もしくは黙示のいかなる保証責任も負わないものとします。

## **8. 共通事項**

### **8.1 データ収集**

お客様は、IBM が「IBM SaaS」の通常の運用およびサポートの一環として、トラッキングおよびその他の技術により、「IBM SaaS」の使用に関連してお客様(お客様の従業員および従契約者)から個人情報を収集できることを納得し、これに同意するものとします。IBM は、ユーザー・エクスペリエンスの向上およびお客様との対話の調整を目的として、「IBM SaaS」の有効性について使用統計および情報を集めるためにこれを行います。お客様は、IBM、その他の IBM グループ会社およびその従契約者が、営業活動を行う地域で、適用法に従い、IBM、その他の IBM グループ会社およびそれぞれの従契約者の範囲内で、収集した個人情報を以上の目的のために処理できるように、お客様が同意を取得する意向であること、または取得済みであることを確認します。IBM は、収集した個人情報へのアクセス、更新、修正または削除について、お客様の従業員および従契約者からの要求に従います。

### **8.2 Derived Benefit Locations**

該当する場合、税金は、「IBM SaaS」の恩恵を受けているとお客様が認識する場所に基づきます。IBM は、お客様が IBM に追加情報を提供する場合を除き、「IBM SaaS」の注文時に主要な Benefit Location として記載した事業所住所に基づいて税金を適用します。お客様は、当該情報を最新に保ち、変更があった場合には IBM に通知する責任を負うものとします。

### **8.3 危険性の高い活動**

お客様は、「IBM SaaS」の障害が重大な死の脅威もしくは深刻な身体障害、または重大な物的損害もしくは環境被害を招く可能性のある状況(以下、「危険性の高い活動」といいます。)で「IBM SaaS」または「IBM SaaS」の一部を単独で、または他の製品と組み合わせて使用してはならず、また他人に当該使用を許可してはなりません。「危険性の高い活動」には航空機、核施設、公共交通システム、航空管制システム、兵器システム、石油掘削およびパイプライン、生命維持装置、または体内埋込型医療機器の設計、建築、管理、または保守が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

## 別紙 A

### 1. Standard User

「IBM Insights Foundation for Energy Standard User On Cloud SaaS」 オファリングに対するサブスクリプションには次の機能が含まれています。

- a. センサー、SCADA (監視制御およびデータ収集) システム、遠隔測定法、作業指示履歴、各種イベントまたは地理空間情報 (マップで可視化するには、GIS サーバーへの組み込みが必要です。「IBM SaaS」では提供されません。) など、異なるソースからのデータの統合および可視化。
- b. 資産の状況および障害の推測の提供による、資産の保守予測分析および障害の恐れのある資産を特定する報告の実行。
- c. 「IBM SaaS」によって処理されるデータのしきい値に基づく各種イベントの立ち上げおよび取得。
- d. 「IBM SaaS」で取得された各種イベントまたはその他のデータに関するレポートの生成および表示。
- e. 「IBM SaaS」で取得された各種イベントまたはその他のデータに基づく重要業績評価指標 (KPI) の表示。
- f. 標準運用手順 (SOP) の実行。SOP は、レポートに定義されている任意のイベント、KPI しきい値、または条件への標準的な対応を自動化できるようにします。
- g. エグゼクティブ・ダッシュボードの活用。このダッシュボードは「IBM SaaS User」が概要情報を一目で確認することができる特別なインターフェースです。

### 2. Premium User

「IBM Insights Foundation for Energy Premium User On Cloud SaaS」 オファリングのユーザーは、上記の「Standard User」の全機能にアクセスできるほか、次の「Premium User」のアプリケーション構成および開発機能にもアクセスすることができます。

- a. 管理インターフェースを介して「IBM SaaS」を管理する機能。
- b. システム統合の促進を可能にする、お客様システムと第三者システム間でのデータや結果のインポートおよびエクスポート。
- c. 「イネープリング・ソフトウェア」を使用した、それぞれの環境に対する「PMQ Artifacts」の作成および修正。
- d. それぞれの環境に関連する SOP の作成および修正。
- e. それぞれの環境に関連する表示の作成および修正。
- f. それぞれの環境に関連する KPI の作成および修正。
- g. それぞれの環境に関連するレポートの作成および修正。
- h. それぞれの環境に関連する分析モデルの作成および修正。

### 3. Consumer User

「IBM Insights Foundation for Energy Consumer User On Cloud SaaS」 オファリングのユーザーは、次の機能にアクセスできます。

- a. 「Consumer User」は、システムにアクセスし、ダッシュボードと同様の読み取り専用機能を使用することができます。
- b. レポートのダウンロードまたは事前定義されたレポートの生成。
- c. 「Consumer User」は「Standard User」と「Premium User」のいずれの機能にもアクセスできません。

## 4. 資産分析

「IBM Insights Foundation for Energy Asset Analytics On Cloud SaaS」 オファリングに対するサブスクリプションには次の機能が含まれています。

- a. 資産分析は、「IBM SaaS」で管理できる資産の最大数を測定および定義するために使用されます。
- b. これにより、「Standard User」および「Premium User」が「IBM SaaS」またはその他のカスタマイズ構築した分析モデルに含まれる資産に関する分析モデルを実行できるようになります。
- c. これにより、「Consumer User」は、資産に関して、「IBM SaaS」またはカスタマイズ構築に含まれる読み取り専用機能にアクセスできるようになります。
- d. 資産分析は、「Premium User」および「Standard User」と組み合わせた場合のみ（「Consumer User」はオプションとなります。）使用可能です。

## 5. セットアップ

「IBM Insights Foundation for Energy Setup On Cloud」を使用すると、「User」および「資産」に対する「IBM SaaS」の請求期間の開始前に「IBM SaaS」をアクティブ化することができます。

「User」はアクティブ化の期間中「IBM SaaS」へアクセスできません。

アクティブ化の期間は、お客様の環境で「IBM SaaS」を構成するために利用されます。